

(ふじのくに静岡ITS推進協議会)

○概要

本県では、2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技の伊豆市開催を契機に、「国内外のサイクリストの憧れを呼ぶ聖地“ふじのくに”」の実現を目指して、安全で快適な自転車走行環境づくりなどに取り組んでいる。

このような状況の中、地理感のないサイクリスト（旅行者等）の安全性や利便性の向上を図るための情報提供の必要性に着目し、(株)フォルテ社の「ナビチャリ」（GPS搭載音声ナビ・ガイド端末+骨伝導ヘッドフォン）を活用した道路情報、観光情報等の提供実験を実施した。



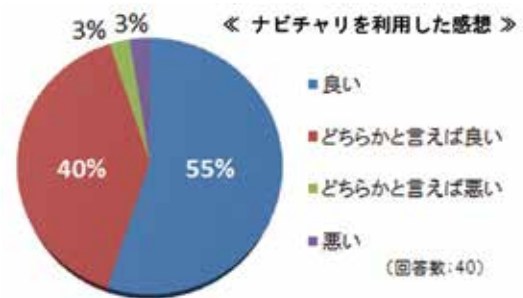
○実験内容

- 1 場所：浜松市西区館山寺町～北区三ヶ日町佐久米間
約24.7km（浜名湖サイクリングロードを活用）
- 2 実施日：平成28年10月22日（日）、11月3日（木・祝）、
11月5日（土）の3日間（各日2グループ）
- 3 対象：一般公募のモニター 3日間計42名
- 4 設定コンテンツ（提供情報）：
 - ① 観光情報 28箇所
例）間もなく直虎ゆかりの寺、龍潭寺です。
 - ② ルート案内 62箇所
例）この先、清水橋信号交差点を左に曲がってください。
 - ③ 道路の注意喚起 17箇所
例）下り坂です。スピードの出しすぎに注意しましょう。

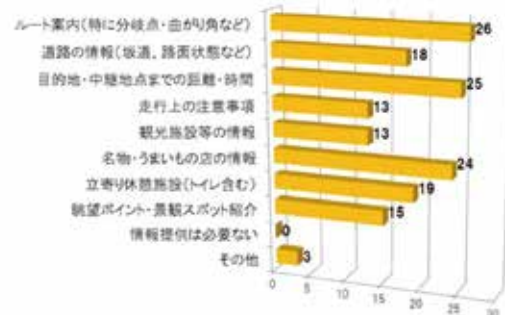


○実験結果

モニターへのアンケート調査結果から、交通量が多い道路や風の強い場所では聞き取りにくいとの一部意見はあったものの、95%の方から「良い」又は「どちらかと言えば良い」との回答をいただき、好評を得た。また、今回の実験では提供しなかったが、「目的地・中継地点までの距離・時間」に関する情報へのニーズが高いことも確認された。



＜音声ナビでの提供が有効な情報＞



○今後の展開

今年度の実験結果から、サイクリストへの情報提供の有効性が確認されたことから、浜名湖サイクリングロードでは、「浜名湖サイクルツーリズム推進会議」（事務局：浜松市観光・シティプロモーション課）において、引き続き導入可能性を検討していく予定である。

また、伊豆半島におけるサイクルツーリズム振興及びジオパーク推進に向け、“ICT×自転車”による観光地巡りの手法の可能性を探るため、伊東市において、平成29年4月を目途に同様の情報提供実験を実施する予定である。

「国内外のサイクリストの憧れを呼ぶ聖地“ふじのくに”」づくりに向けては、自転車走行環境の整備・充実だけではなく、官民が連携して、愛好者のすそ野の拡大やサイクリングを通じた観光交流人口の拡大等に取り組んでいる。今後とも、ITS Japanを始めとする関係者の皆様の助言、協力をいただきながら、ITSの分野からも取組に貢献できるよう、努めていきたい。